

平成 26 事業年度

決算報告書

【第 11 期】

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

国立大学法人 お茶の水女子大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学
(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	4,424	4,574	150	(注1)
うち補正予算による追加	-	3	3	
施設整備費補助金	708	708	-	
うち補正予算による追加	470	470	-	
補助金等収入	580	646	66	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	26	-	
自己収入	1,806	1,889	83	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,704	1,696	△ 8	(注3)
雑収入	102	193	91	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	412	510	98	(注5)
引当金取崩	-	2	2	(注6)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	7,957	8,355	398	
支 出				
業務費	6,231	6,316	85	
教育研究経費	6,231	6,316	85	(注7)
施設整備費	734	734	-	
うち耐震対策事業	470	470	-	
補助金等	580	646	66	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	412	485	73	(注9)
貸付金	-	-	-	
計	7,957	8,181	224	
収入 - 支出	-	174	174	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠及び教育改善推進枠が特別運営費交付金として交付されたことにより、予算額に比して決算額が92百万円増額となっております。更に、決算額に本年度使用した前年度以前の繰越を含んでいるため、総額で予算額に比して決算額が150百万円増額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、国からの補助事業の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が66百万円増額となっております。
- (注3) 授業料及び入学金及び検定料について、予算額に比して決算額が8百万円減額となっております。
- (注4) 雑収入については、財産貸付料及び研究関連収入の増加に努めたため、予算額に比して決算額が91百万円増額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入については、国及び民間企業等からの受入が増加したため予算額に比して決算額が31百万円増額となっております。寄附金収入等については、新たに創立140周年記念事業を開始したことにより予算額に対して決算額が67百万円増額となっております。
- (注6) 引当金取崩については、予算額に比して決算額が2百万円増額となっております。
- (注7) 注1に示した理由により予算額に比して決算額が85百万円増額となっております。
- (注8) 注2に示した理由により予算額に比して決算額が66百万円増額となっております。
- (注9) 注5に示した理由により予算額に比して決算額が73百万円増額となっております。